

映像演劇の世界

小田 マサノリ

映像・演劇の世界は他の先生もいるけど、小田先生にすべき。五限だろうが三限だろうが、こんなに楽しくて為になって好成績もらえる授業は他にない。たぶん歴代一位。その代わりすごく倍率は高いから、二年になってからでも OK。ほかの映像・演劇の世界をとらないようにだけ注意してね。

大野 真

授業の流れは毎週オイディプスの映像を見せられてそれに対しての先生の意見を聞いて最後に感想レポートを提出って感じ。
最終課題は期末レポート 1400 字程度のみ。
出席が割と成績に反映される気がした。
簡単だと思います。

ポピュラー・ カルチャーの世界

堀内 美江

授業を受けてリアクションシート（感想）を書く。テストは持ち込み可だったので簡単でした。授業内容的に楽しかったです。

日本国憲法

北上 英典

毎週提出のマナバのアンケートと出席と期末テスト（教科書持ち込み OK）で成績が決まる。
途中中間テストもやったがあまり成績には反映されていなかった。
先生曰く期末テストは 100 点満点中（だったと思う）50 点取れば A はもらえると言っていた。
教職とりたい人がとっているイメージだった。

メディアと現代社会

堀口剛

成績は期末（レジュメ持ち込み OK）と感想レポートで決まる。

任意でレポートを書くとプラス α してくれる。

また、講義中の飲食のガードが緩め（月曜日 1 限だったので、飲み物は全般 OK、食べ物は朝食が取れなかったのためにおにぎり 1 個とかカロリーメイトなどガチな食事であれば大丈夫 $\square\square$ ㊦としてくれた）

感想レポートが割と評価に反映されていた気がする。

講義内容を一言で現すとメディアの歴史って感じ。

経済と現代社会

中野裕美子

個人的な意見ですが、

前提として高校時代経済の授業が苦手だった方は単位を取りにくいという点（成績はほぼ中間テストと期末テストで決まります。また、テストはテキスト持ち込み不可なので高校時代の定期テスト感覚で臨むことになります。）であまりおすすめ出来ませんが、苦手だからこそ勉強になったところはあったので、経済がダメだけど勉強したいし、単位落とさなきゃそれで良いやって人なら取っても良いかと思われます。（中間と期末で 6 割超えていたら単位は落とさないと思います！）

成績は中間、期末、出席、授業後の感想レポートで決まる。（前述の通りほぼテストの点で評価されてると言っても過言ではない）

あと休むと結構テストが不利になるかも。

△中間テストに関しては後日先生が点数を教えてくださいますが、期末は点数を教えてくださいません。

授業内容的に薄いです。中間と最後の授業でテストがあり持ち込み不可です。テストはちゃんと勉強すれば落とすことはないと思います

生活の物理

山崎展樹

毎回授業に出るのが苦痛でない人には成績高く取れるのでおすすめです。毎回の小テストは授業中に話される内容なので簡単ですし、最後のレポートは例年“私と物理”というテーマで自由に書いて良いです。

でんじろう先生の映像が見れる。小テストがあったりするけど毎授業理解すれば、高校生の授業みたいで楽。成績は厳しくもなければ緩くもないのが難点。

レクリエーション論

川之上豊

基本小学生に戻った気持ちで楽しめる授業だった。最終課題は10人くらいの前で自分で考えたレクリエーション（鬼ごっことか椅子取りゲームとか既存の遊びで大丈夫）を10分以内で3つ考えて発表する。（お楽しみ会の司会を10分やるって考えるとわかりやすいかな）グループワークが苦じゃない人にはおすすめ。

レクリエーション実技

川之上豊

楽な方だと思う。最終課題もグループで1つ作れば良い感じだった（1人1つ提出のものもあるけど）ので基本課題は授業内で終わるものばかりだった。一回大学周辺（千鳥ヶ淵とか武道館あたり）を歩いてグループワークする回があった。グループワークが苦じゃない人にはおすすめ。

スポーツ

菅田真理

卓球とバドやった。

最後に謎の筆記テストをやった。(卓球、バドの選手とルールを把握できてたらそれでOK、そこまで成績に反映されている感じではなかった)

出席、バドのサーブのテスト、卓球のサーブのテストと筆記テストで成績がつく。

基本遊び感覚で出来る授業だった。

楽単だと思います ^_^

大久保裕美

ヨガとエアロビをやった。

毎週授業始めにその日の朝食と昼食を書き、授業終わりにその日授業でやったことを書く時間があった。

(そのレポートも成績に反映される)

(あまり気にしなくて良いが私が受けてた時は非常勤の先生であったことから休講が多くダイエットについてのレポートも書いて提出したり、補講をやったりした。)